



高橋 たくはし

(大樹会) 功 議員
いさお

新たな鳥獣害対策について

Q テクノロジーの活用としてICT機器の代表的な例はセンサーつきのわなやおりだが、鳥獣害対策のテクノロジー技術活用の推進についての現状と今後について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

捕獲活動に関してのテクノロジー活用については、現状は遠隔操作による自動捕獲システムを備えたスマートフォン等により、監視や閉扉可能な囲い的な2基を、主にニホンザルの群れの捕獲を目的に設置しています。

また、今後については、捕獲の省力化を図り捕獲従事者を増やすため、ICTを活用したわなの捕獲通知システム等の導入を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市の将来の農業のあり方を考える地域計画の策定について
☆田んぼダムへの取り組みについて



澤田 さわだ

(大樹会) 裕之 議員
ひろゆき

消防団活性化推進基本計画について

Q 若年層の消防団への入団促進は、地域防災力の維持、向上において最重要課題の一つである。若年層等への入団促進の取り組み状況について伺いたい。

A 市長

若年層への入団促進は、消防団活性化における最優先事項です。現在消防団と協力しながら、各種取り組みを推進しているところです。令和6年5月には、県内で初めて現役の女子高校生が本市消防団に入団しました。来年度は、市内全高校等に対し出前講座の開催を要請していきたいと考えています。今後については、消防団活動のPR動画を作成し、本市の公式SNSなどで幅広くPRをするほか、就職等に有利な学生消防団活動認証制度の導入についても検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市合併20年について
☆中小企業に対する支援について



杉原 まさお

(政友みらい) 政夫 議員
まさお

2学期制及び義務教育学校について

Q 2学期制の利点と課題について伺いたい。

A 教育長

2学期制の利点としては、学期が長くなったことで各学校で特色ある教育活動を計画し実施できていること、授業時数が確保され教職員が児童生徒と向き合う時間が増えていること、教職員の業務の負担軽減となり働き方改革につながっていること等が挙げられます。

課題としては、1学期の終了と2学期の開始の間が短く児童生徒の気持ちの切替えが難しいため、終業式や始業式の在り方を工夫することが挙げられています。また、ゆとりのある期間に学校行事が続くことで児童生徒や教職員に負担をかけている場合もあるため、改善が必要なことも挙げられています。

その他の質問

☆子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりについて
☆生活保護について

